

藤沢市 令和2年度事務事業評価シート簡易版(令和元年度分)

No. 2

事務事業名	地域対策関係費										担当課	部課名	生涯学習部藤沢公民館			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	13	細目	003	説明	01	課等の長	森 徹	電話	6737

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務										
事業概要	各市民センター・公民館を拠点とし、地区内の緊急・応急対策を必要とする諸課題への迅速な対応を図る。																
対象	1. 個人	市民(藤沢地区)														45,686	人
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市都市公園条例																
事業実施内容	公園などの安全性を確保するために、緊急・応急措置による対応を実施。																
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 () : () <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 () : () <input type="checkbox"/> その他 () : ()																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 134 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		役務費	134 千円	旧藤沢公民館敷地内草刈・樹木剪定等作業
財源内訳	R元年度 支出済額 134 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源	134 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	0.11
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.11

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度				
行政費用 A	9,210	-1,076	1,250	1,235				
(1)現金を伴う支出 (千円)	9,136	1,511	1,261	1,204				
事業費(支出済額-②報酬合計)	547	544	297	134				
償還金利息	0	0	0	0				
人件費合計(①+②+③)	8,589	967	964	1,070				
①職員給与合計(常勤)	8,121	922	917	1,006				
②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0				
③退職金相当額	468	45	47	64				
(2)現金を伴わない支出 (千円)	74	-2,587	-11	31				
①減価償却費	0	0	0	0				
②退職給与引当金繰入額	74	-2,587	-11	31				
③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	21.67	425,105	-2.52	427,501	2.91	429,317	2.85	433,060

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		緊急・応急対応に関する事業のため、指標の設定はできない。						
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-		-		-		-	

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）
 ※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	多様化する市民からの要望に迅速に対応する必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	地区内の安全を確保するため，関係各課と連携を図る。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	市が管理する施設における応急措置を実施し，市民要望及び安全性確保のために迅速な対応ができた。	
	事業の方向性	現状維持
今後の方針	市が管理する公園・みどりの広場・道路などにおける安全性を確保するために，今後も必要な緊急・応急対応を図る。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
9	地域市民の相談及び要望の処理並びにこれらに係る連絡調整	無	無	3	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	防災訓練等関係費										担当課	部課名	生涯学習部藤沢公民館			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	07	目	01	細目	002	説明	01	課等の長	森 徹	電話	6737

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務										
事業概要	防災体制の強化と市民の防災意識の高揚を図るために総合防災訓練、津波訓練及び水防訓練等を実施する。																
対象	1. 個人	市民(藤沢地区)														45,686	人
根拠法令等	法律等	災害対策法															
事業実施内容	1 藤沢東部地区総合防災訓練 実施日:2019年11月10日 参加人数:440人 2 藤沢西部地区総合防災訓練 実施日:2019年12月8日 参加人数:427人																
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先:藤沢東部地区自治会・町内会連合会, 藤沢西部地区町内会自治会連合会) (委託等内容:藤沢東部地区総合防災訓練, 藤沢西部地区総合防災訓練の実施) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (): <input type="checkbox"/> その他 ()																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 104 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		委託料	104 千円	総合防災訓練業務委託料
財源内訳	R元年度 支出済額 104 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他()		
一般財源	104 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	1.87
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	1.87

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	11,606	12,393	13,140	20,041			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	11,678	12,601	13,092	18,278			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	104	104	104	104			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	11,574	12,497	12,988	18,174			
	①職員給与合計(常勤)	10,921	11,946	12,383	17,094			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	653	551	605	1,080			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-72	-208	48	1,763			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-72	-208	48	1,763			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他()	0	0	0	0			
	市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	27.30	425,105	28.99	427,501	30.61	429,317	46.28

成果実績	指標名	地区総合防災訓練参加者数	目標	900	単位	900	単位	900	単位	900	単位
			実績	858	単位	941	単位	918	単位	867	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			13,526.81	13,170.03	14,313.73	23,115.34					

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1)	令和元年度末時点の課題	近年の大型台風の発生により，水害に対する自助意識は高まってはいるが，その他災害に対する備えや地域における互助・共助の防災意識を，更に向上する必要がある。
(2)	(1)解決のための今後の取組	地域住民同士の繋がりが希薄化している現状において，訓練を実践的な内容にすることで，これまで訓練に参加していない住民の参加を促し，防災意識の高揚を図る。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	災害時に優先的に必要とされる対策の訓練内容を実施したことで，幅広い世代の方が多く参加し，防災意識の高揚が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	総合防災訓練をより実践的な内容にするなど，訓練内容の充実を図り，継続して実施し，市の防災体制の強化と住民の防災意識の高揚を図る。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
12	地区防災拠点本部会議の開催について	無	有		3
13	地区総合防災訓練の開催について	有	有	3	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	旧東海道藤沢宿活性化推進事業費										担当課	部課名	生涯学習部藤沢公民館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	01	細目	011	説明	01	課等の長	森 徹	電話	6737

1. 事業概要

事業開始年度	平成 28 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	旧東海道藤沢宿において、活性化に効果的な事業展開・情報発信を行うため、民間事業者等とのマルチパートナーシップにより、誘客宣伝につながるイベントを実施する。				
対象	4. その他	藤沢市を訪問する観光客(海水浴客を除く)			17,748,038 人
根拠法令等					
事業実施内容	藤沢宿への誘客に向けて、藤沢宿クリアファイルを2,100枚作成し、湘南藤沢コンシェルジュ等にて配布した。また、時宗二祖上人七百年御遠忌記念講演会等で藤沢宿うちわ1,000本を配布した。				
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 212 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		旅費	6 千円	イベント視察
		需用費	206 千円	PRグッズ作成ほか
財源内訳	R元年度 支出済額 212 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源	212 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	0.15
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.15

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	13,251	9,204	2,183	918			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	9,880	9,611	3,942	1,670			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	235	428	87	212			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	9,645	9,183	3,855	1,458			
	①職員給与合計(常勤)	9,101	8,758	3,667	1,371			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	544	425	188	87			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	3,371	-407	-1,759	-752			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	3,371	-407	-1,759	-752			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	31.17	425,105	21.53	427,501	5.08	429,317	2.12	433,060

成果実績	指標名	誘客宣伝イベントによる誘客数	目標	1,000	単位	—	単位	600	単位	1,000	単位
			実績	1,533	人	—	人	473	人	1,000	人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			8,643.84		-		4,615.22		918.00		

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1)	令和元年度末時点の課題	「藤沢宿にぎわい創出協議会」と類似した，ふじさわ宿交流館所管の「藤沢市ふじさわ宿交流館運営協議会」が存在することから，その委員構成や機能の重複を踏まえた「藤沢宿にぎわい創出協議会」の存続について課題がある。
(2)	(1)解決のための今後の取組	今後は，「藤沢宿にぎわい創出協議会」のあり方を再検討する必要がある。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	「藤沢宿にぎわい創出協議会」の各企業・団体の主体的なイベントを誘致したため，少ない経費で実施することができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	「藤沢宿にぎわい創出協議会」の役割を明確にし，今後，更なるにぎわいの創出を図るために，様々な形でのイベント誘致・情報発信を行う。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
9	地域市民の相談及び要望の処理並びにこれらに係る連絡調整	有	有	3	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	公民館管理費										担当課	部課名	生涯学習部藤沢公民館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	02	細目	001	説明	01	課等の長	森 徹	電話	6737

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務										
事業概要	公民館の円滑な運営・管理のため、施設の維持・管理を行うもの。																
対象	1. 個人	市民(藤沢地区)														45,686	人
根拠法令等	条例(市)	藤沢市公民館条例															
事業実施内容	施設の良好な維持管理により、利用者の利便を図る。																
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : マルコービルワーク(株), 篠崎電気管理事務所) (委託等内容 : 総合管理業務, 自家用電気工作物保安管理業務) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 14,413 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		報酬	1,755 千円	地域業務員報酬
		需用費	6,365 千円	消耗品費, 施設修繕費, 電気・ガス代, 上下水道代
		委託料	4,630 千円	総合管理業務委託
財源内訳	R元年度 支出済額 14,413 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	4,028 千円	
		国庫支出金		
県支出金				
その他(光熱水費実費収入)	290 千円			
一般財源	10,095 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	4.44
再任用短時・任期付短時職員	0.10
非常勤職員	0.86
合計	5.40

※正規職員等=正規職員+再任用職員(短時以外)+任期付職員(短時以外)+常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
行政費用 A	83,315	76,280	76,776	72,549
(1)現金を伴う支出 (千円)	67,910	65,578	65,281	58,160
事業費(支出済額-②報酬合計)	16,268	17,301	23,457	12,658
償還金利息	0	0	0	0
人件費合計(①+②+③)	51,642	48,277	41,824	45,502
①職員給与合計(常勤)	47,136	44,493	39,910	41,182
②報酬合計(非常勤)	1,756	1,756	0	1,755
③退職金相当額	2,750	2,028	1,914	2,565
(2)現金を伴わない支出 (千円)	15,405	10,702	11,495	14,389
①減価償却費	13,594	13,594	13,338	13,266
②退職給与引当金繰入額	1,811	-2,892	-1,843	1,123
③不納欠損額	0	0	0	0
④その他()	0	0	0	0
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	195.99	425.105	178.43	427.501
			178.83	429.317
				167.53
				433.060

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		施設等の維持・管理を目的とした事務事業のため、指標の設定はできない。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-								

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）
 ※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	分館（済美館）は老朽化が進み，利用者の安全と快適な利用環境を確保するため，計画的な修繕を進める必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	優先順位を付け，緊急性の高い箇所から優先的に修繕を行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	13地区の拠点施設の1つとして役割を果たし，また社会教育施設として藤沢公民館・労働会館複合施設開設後も，地域団体・サークル等の主要な活動場所となっている。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	分館（済美館）は，藤沢公民館・労働会館等複合施設が，平成31年4月に供用開始された後も，藤沢地区の拠点施設としてその機能を維持・管理することが必要である。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
17	公民館の施設整備に関すること	無	有	1	2
19	公民館の使用許可に関すること	有	有	1	
20	公民館使用料に関すること	有	有	1	1
21	公民館施設の利用方法に関すること	無	有	3	
22	公民館施設の委託業務契約に関すること	有	有	3	1
23	公民館施設の維持管理に関すること	有	無	1	3
26	公民館施設の目的外使用に関すること	無	無	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	公民館事業費										担当課	部課名	生涯学習部藤沢公民館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	02	細目	002	説明	01	課等の長	森 徹	電話	6737

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務										
事業概要	地域住民の生涯学習の場として、幅広い内容の事業を実施するとともに、市民の自主的な学習・文化活動の場を提供する。																
対象	1. 個人	市民(藤沢地区)														45,686	人
根拠法令等	法律等	社会教育法															
事業実施内容	生涯学習に関する講座の実施、および文化活動の推進・支援 公民館講座など計42事業 事業総実施回数 157回																
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 藤沢公民館まつり実行委員会) (委託等内容 : 第42回藤沢公民館まつり事業) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 1,348 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		報償費	930 千円	事業用講師謝礼
		需用費	87 千円	消耗品費
		役務費	48 千円	ピアノ調律手数料
委託料	283 千円	公民館まつり委託料		
財源内訳	R元年度 支出済額 1,348 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源	1,348 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	2.03
再任用短時・任期付短時職員	0.35
非常勤職員	0.00
合計	2.38

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	19,617	27,685	20,625	23,632			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	20,313	25,945	21,826	23,163			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	1,535	1,492	1,341	1,348			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	18,778	24,453	20,485	21,815			
	①職員給与合計(常勤)	17,950	23,468	19,603	20,642			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	828	985	882	1,173			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-696	1,740	-1,201	469			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-696	1,740	-1,201	469			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	46.15	425,105	64.76	427,501	48.04	429,317	54.57	433,060

成果実績	指標名	公民館主催事業の参加者数(延べ人数)	目標	7,705	単位	8,616	単位	6,570	単位	9,408	単位
			実績	8,939	単位	5,889	単位	7,175	単位	7,744	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			2,194.54	4,701.14	2,874.56	3,051.65					

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1)	令和元年度末時点の課題	年度末は新型コロナウイルス感染拡大防止対策から公民館施設の休止により，一部事業が実施できなかった。公民館まつりは，新施設（Fプレイス）全体で取り組んだこともあり，Fプレイスは多くの来館者でたいへん盛況であったが，済美館では催しも少なく，連携も不足していたため来場者が少なかった。
(2)	(1)解決のための今後の取組	今後の公民館事業の企画は，新型コロナウイルス感染予防が十分に図られる事業を検討していく。公民館まつりは，サークルや地域の力を借りてFプレイスと済美館が一体的な企画となるよう実施し，また，まつりのPRを十分に行っていく。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	市民の生涯学習・文化活動を支援し，公民館講座の開催や公民館サークルの支援等，学習環境の整備を推進した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	学習成果を地域課題の解決に活用する機会や場を創出するために，それをサポートする人材や体制の充実を図る。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
18	公民館利用団体の登録に関すること	無	無	3	3
24	館内外の掲示板，展示作品の管理に関すること	有	有	1	1
25	教材・教具等物品の貸出に関すること	有	有	1	1
27	学習相談に関すること	無	無	3	
28	公民館まつりに関すること	有	有	3	3
29	公民館評議員会に関すること	無	無	1	1
30	公民館事業に関すること	無	有	3	1
31	公民館事業実績報告に関すること	無	無		1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	藤沢公民館・労働会館等複合施設運営管理費										担当課	部課名	生涯学習部藤沢公民館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	02	細目	005	説明	01	課等の長	森 徹	電話	6737

1. 事業概要

事業開始年度	令和元年度	終了(予定)年度	未定年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	藤沢市藤沢公民館・労働会館等複合施設において、快適な施設環境とサービスを効率的に行うため、指定管理者による運営管理等を行う。				
対象	1. 個人	市民(藤沢地区)			45,686 人
根拠法令等	条例(市)	藤沢市公民館条例			
事業実施内容	施設の良好な維持管理により、利用者の利便を図る。				
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (指定管理者 : 相鉄・チームふじさわ共同企業体) (委託等内容 : 総合管理業務, 空調設備・消防設備保守点検業務等) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 104,536 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	19,851 千円	消耗品費, 電気・ガス代, 上下水道代
		委託料	84,133 千円	機械警備委託, 総合管理業務委託
財源内訳	R元年度 支出済額 104,536 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 (光熱水費実費収入)	454 千円	
一般財源	104,082 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	0.85
再任用短時・任期付短時職員	0.05
非常勤職員	0.00
合計	0.90

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
行政費用 A				115,663
(1)現金を伴う支出 (千円)				113,095
事業費(支出済額-②報酬合計)				104,536
償還金利子				0
人件費合計(①+②+③)				8,559
①職員給与合計(常勤)				8,068
②報酬合計(非常勤)				0
③退職金相当額				491
(2)現金を伴わない支出 (千円)				2,568
①減価償却費				0
②退職給与引当金繰入額				2,568
③不納欠損額				0
④その他 ()				0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)				267.08 433,060

成果実績	指標名	-	目標					-	単位
			実績					-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		施設等の維持・管理を目的とした事務事業のため、指標の設定はできない。						
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)									

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）
 ※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	複合施設であることから移転の際にも多くの調整を要したが，施設運営をしていく中で，指定管理者及び各施設の間で情報共有や調整を図る場を設け，連携を綿密に図っていく必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	施設運営をしていく中で，指定管理者と各施設で情報共有できるようにFプレイス内での連絡会議を定例的に開催する必要がある。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	13地区の拠点施設の1つとして役割を果たし，また社会教育施設として地域団体・サークル等の主要な活動場所となっている。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	藤沢地区の新たな複合施設・拠点施設としてその機能を維持・管理することが必要である。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
34	藤沢市藤沢公民館・労働会館等複合施設に関すること	有	有	1	3
35	指定管理者に対する運営指導	無	無		3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------